

# 付着生物(ユウレイボヤ等)ラーバ情報

平成26年3月4日～5日に陸奥湾3定点で第11回付着生物(ユウレイボヤ等)ラーバ調査を行ったので、その結果をお知らせします。

## 1 ラーバの出現数

各地の出現数は表1、出現数の推移は図1～4のとおりです。

ユウレイボヤ、ネンエキボヤ、キヌマトイガイ(通称:コメガキ)のラーバはいずれも3定点とも見られませんでした。オベリア類(通称:クサ)のクラゲは、野辺地沖で27.2個/トン見られました。

表1 付着生物のラーバ等の出現数 単位:個/トン

調査地点	調査月日	ユウレイボヤ	ザラボヤ	ネンエキボヤ	オベリア類	キヌマトイガイ
久栗坂沖	H26.3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
野辺地沖	H26.3.5	0.0	0.0	0.0	27.2	0.0
川内沖	H26.3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

## 2 水温の状況

各ブイの3月6日の平均水温は、表2のとおりです。

表2 各ブイの中層における日平均水温(3/6)

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	5.2	東湾ブイ	2.8
青森ブイ	-	浜奥内ブイ	2.3

※浜奥内は10m層、それ以外は15m層の値

## 3 今後の見込み

ユウレイボヤとネンエキボヤのラーバは見られないため新たに付着する個体はないものと考えられます。

オベリア類(クサ)のクラゲの出現ピークは過ぎたものと考えていましたが、野辺地沖で増加していることから、付着に注意していく必要があります。

キヌマトイガイ(コメガキ)のラーバは今回の調査では見られませんでした。3月6日発行の「ホタテガイ採苗速報18号」では全湾平均で664個/トンの出現が見られますので、付着に注意していく必要があります。

今後のラーバの出現動向や付着状況については、次回(3月下旬発行予定)の情報を参考にしてください。

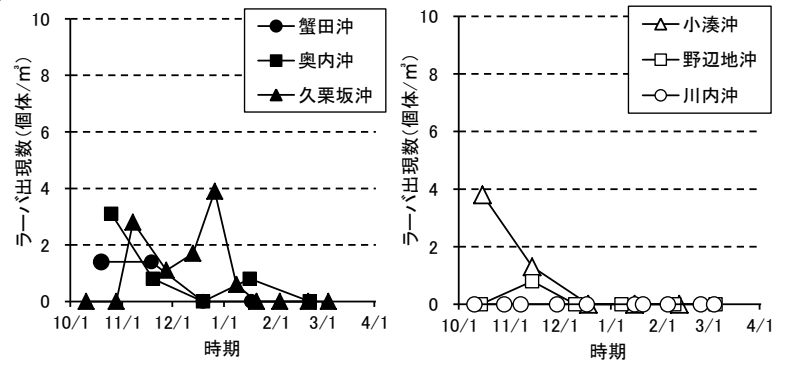


図1 ユウレイボヤラーバ出現数の推移

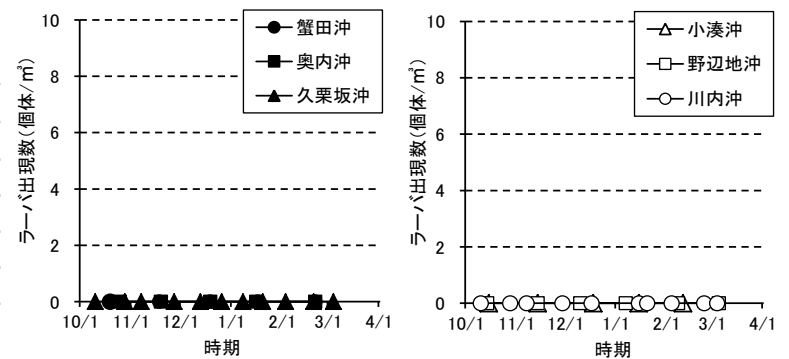


図2 ネンエキボヤラーバ出現数の推移

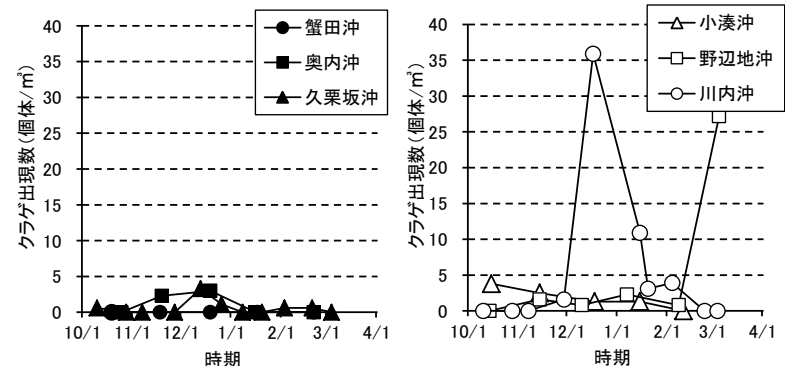


図3 オベリア類クラゲ出現数の推移

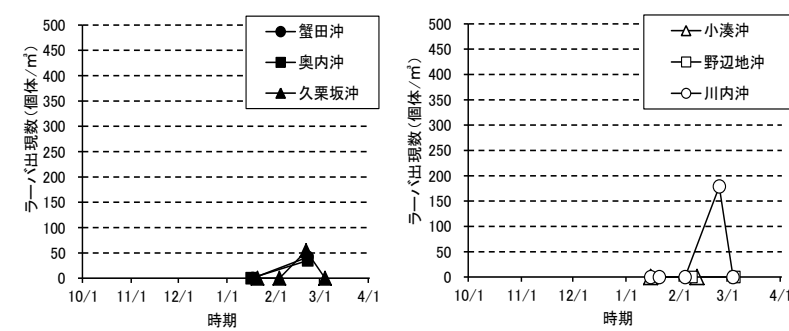


図4 キヌマトイガイラーバ出現数の推移



写真1 ホヤ類の浮遊幼生(左からユウレイボヤ、ネンエキボヤ、ザラボヤ)

写真2 オベリア類のクラゲ

発行元: 地方独立行政法人  
青森県産業技術センター 水産総合研究所  
住所: 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10  
TEL: 017-755-2155 FAX: 017-755-2156

水産総合研究所ホームページ <http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2184>

①ホタテガイ採苗速報 携帯電話用QRコード

②陸奥湾観測データ総合管理システム 携帯電話用QRコード

